

3 . 2005 年度 寄付金増進タスクグループ開催

5月18日(木) 常務理事会の委嘱を受けた「寄付金増進タスクグループ」がスタートしました。伊藤長英常務理事(第2510地区:北海道西部)座長のもと、パストガバナー、現・次期地区米山奨学委員長など、米山奨学事業を熟知する6名の委員で構成されています。

今回のタスクグループでは、米山功労者表彰制度の改定から3年目を迎え、新制度の検証とともに、表彰品の見直しや、表彰制度の効果的なPR、寄付増進の具体的な方策についての検討が予定されています(全2回開催予定)。

第1回の会議では、主に表彰制度について協議されました。「準米山功労者」復活の是非や、現行の表彰品の改定案など、活発な意見交換と提案がなされました。

4 . 文部科学省による実地検査の報告

2006年5月23日(火) 文部科学省高等教育局学生支援課の検査官による当会への実地検査が行われました。検査項目は、法人業務の運営状況、事業内容と実施状況、会計処理および資産状況など細部にわたる検査が実施されました。この実地検査は、文部科学省所管の公益法人に対し、3年に一度、定期的に行われています。

検査終了後の講評では「奨学団体として適正な管理運営がされている」と評価を受けました。ただ、今後の課題として、理事の定数(上限と下限の幅が大きく、人数も多い) 評議員の任期(現行1年だが2年が原則) 理事会・評議員会の委任状(現行の一括委任ではなく、各議案について賛否を問う様式)の3点が指摘され、次回までの改善・検討が求められました。

台湾学友会主催シンポジウム参加者募集！ 台湾の米山学友とともに日本留学の魅力を語りませんか

今月のおねやまだより*でもお知らせした通り、台湾学友会((社) 中華民國扶輪米山会)が主催するシンポジウム『日本留学を考える～異文化との出会い～』が下記の通り開催されます。

昨今低迷する日本留学の魅力を盛り立てようと、台湾各界で活躍する米山学友が立ち上がって企画した今回のシンポジウムは、台湾の財界・教育界はもちろんのこと、現地のロータリアンからも大変注目されています。米山学友を育てた日本のロータリアンの皆さま、ぜひ、彼らの成長の姿と、奉仕の心が大輪の花を咲かせていることを見届けましょう！多くのロータリアンの皆さまのご参加をお待ちしています。
*『ロータリー之友』2006年6月号・横組みP.25

開催：2006年9月23日(土) 13:00～17:00

会場：台北市内の国際会議場(同時通訳あり)

参加者：台湾の日本留学希望者、留学事情有識者、日本・台湾のロータリアン、米山学友など

旅行代：9/22～24の2泊3日で9万9,800円～(添乗員付き)

登録料：8,000円(シンポジウム・懇親会参加費)

シンポジウム終了後の懇親会には、2001-02年度RI副会長の黄 其光氏(2005-06ロータリー財団管理委員、台北RC会員)、2005-06年度第3490地区ガバナーの許 國文氏(台湾初の米山学友出身ガバナー)などの方々が出席予定です。

詳細情報やチラシ(PDF版)は当会HP(<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>)に6月末ごろ掲載

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当：野津・肇・大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281
E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>